

2023年度 事業報告

社会福祉法人 横浜いのちの電話



ヤマハキ

横浜いのちの電話 2023年度事業報告



目 次

ご挨拶	1
2023 年度 事業報告	2
活動概要	2
電話相談活動	2
研 修	2
活動報告	3
相談員数と受信件数	5
電話受信状況	6
2023 年度 決算報告	9
2024 年度 事業計画	10
2024 年度 資金収支予算書	11
法人組織	12
感謝録（寄付報告）	13
事業支援委員会 感謝録	15
組織図	16



ご挨拶

2023（令和5）年度の事業活動と収支決算をここにご報告いたします。この一年間も多くの方々にご支援、ご協力をいただき、このように活動を続けることができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

私ども横浜いのちの電話の日本語相談は、「いつでも、誰でも、どこからでも」という電話の即時性と匿名性を保持し、電話で寄り添うことを大切にしながら、認定されたボランティアにより年中無休24時間体制の自殺予防電話相談活動を行っております。また、中南米からの在日外国籍の方々のためのスペイン語、ポルトガル語による外国語相談（LAL）も同じく認定されたボランティアにより週3日の活動を続けています。さらに心理や法律の電話による専門相談を行っています。それぞれ無事に相談をお受けすることができました。

このような中、外国語相談は開設30周年を迎えることができ、記念誌を発行することができました。人生の様々な問題に直面した方々が母国語で問題を打ち明けたり話したりすることが必要であり、とても大切な活動であると思っています。これまで相談を担ってくださった相談員の方々をはじめ多く方々の思いと行動によりここまで続けることができました。また駐日ブラジル大使館の方々や横浜市をはじめ行政の方々にもご支援いただき感謝の気持ちでいっぱいです。外国語相談の新たな歩みにこれからもご協力をくださいますようお願いいたします。

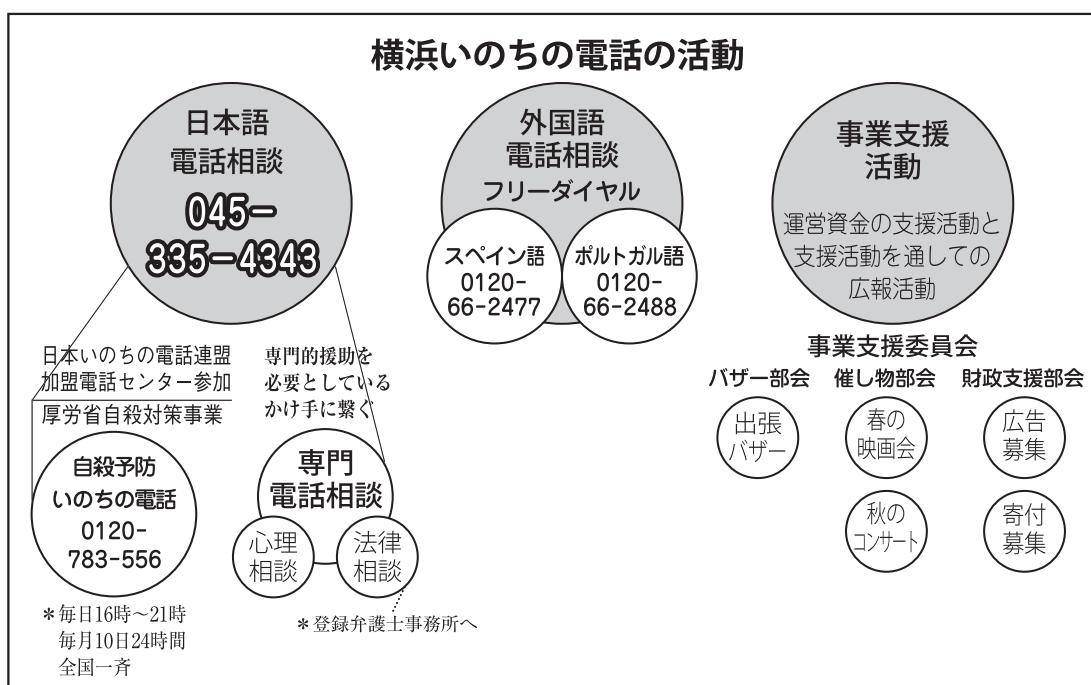
日本語電話相談も相談員の協力の中、金曜日と土曜日に加え、木曜日もを24時間体制で行うことができるようになりました。またボランティア間の交流の「日本語電話相談員のつどい」も開催することができました。事業支援委員会が行っている秋の催し（コンサート）、春の映画会、バザー等も無事に開催することができ、多くの方々に参加していただきました。さらに相談員の養成研修をはじめ全体研修、地区別グループ研修等も実施できました。財政面でも多くの方々からご寄付をいただき、行政の方々からも継続してご支援もいただくことにより安定した運営を行うことができました。このようにご報告できますことがうれしく感謝しております。ありがとうございました。

私たちの電話には、常に多くの方々からの電話がかかってきます。私たちを必要としてくださる方々の相談を少しでも多くお受けできるように、これからも努力していきたいと思っています。

今年度も社会福祉法人としての自覚と責任を担いながら、《いのちを大切にする》市民活動を続けてまいります。常に自殺予防としての電話相談の質を問い合わせ、「かながわ自殺対策会議」をはじめ県市町の行政機関、関係諸団体と連携、協力しながら、生きる力を信じて支え、お一人おひとりの電話に寄り添う、柔軟な自殺予防活動に取り組んでいきたいと思います。

44年目の歩みを始めています。横浜いのちの電話がこれからもより良い相談ができるように、皆様方のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

2024年7月
社会福祉法人 横浜いのちの電話
理事長 松橋秀之



2023年度 事業報告

活動概要

2023年5月に新型コロナウイルス感染症は5類感染症に変更になり、引き続きコロナ禍対応をしながらではあるものの、研修等は計画通りに実施出来た。日本語電話相談は2023年11月より木曜日の深夜帯の活動も再開したことにより、日曜日～水曜日は8時～22時、木曜日～土曜日は24時間体制となった。

また、日本いのちの電話連盟が毎月10日に実施しているフリーダイヤル「自殺予防 いのちの電話」には8時～22時、2020年度より実施している「毎日フリーダイヤル」（16時～21時）には、当センターも2021年8月より1日と20日に16時～19時で参加しているが、2023年度も同時間帯に参加した。

電話相談活動

※統計数字は日本いのちの電話連盟にあわせて年（1月～12月）で集計しています。

日本語電話相談

1. 一般電話相談 045-335-4343

- (1) 年中無休24時間体制を理念として電話相談活動を継続したが、コロナ禍により時間を短縮しての活動を余儀なくされた。
- (2) 実働相談員129名（2022年137名）が原則として月2回の電話担当に入り、16,222件（2022年15,388件）の電話相談を受信した。

2. 専門相談（心理・法律）

専門的援助を必要としているかけ手に対しては、一般相談から専門相談につなぎ対応した。

受信件数 心理専門相談 99件（2022年107件） 法律相談 38件（2022年19件）

3. フリーダイヤル「自殺予防 いのちの電話」 0120-783-556

- (1) 厚生労働省の自殺防止対策事業（自殺防止対策事業補助金交付）である「自殺予防いのちの電話」に引き続き参加し、毎月10日のフリーダイヤル（8時～22時）と、1日と20日の16時～19時に毎日フリーダイヤルで相談を受けた。
- (2) 県及び市町村に、ポスター、カード配布等の広報活動を行った。
- (3) 受信件数538件（2022年515件）うち自殺に関する件数107件（2022年111件）
担当した延べ相談員数142名（2022年139名）

外国語電話相談 LAL (Linea de Apoyo al Latino/Linha de Apoio aos Latinos)

一般電話の他にフリーダイヤル相談も実施している

- (1) 主に中南米からの外国籍県民を対象に母語（スペイン語・ポルトガル語）のメンタルヘルス相談を神奈川県と横浜市の援助により実施した。相談員の国籍は6ヶ国で、担当した相談員数は40名（うち日本人11名）である（2022年は7ヶ国で、担当した相談員数は40名（うち日本人11名））。受信件数1,201件（2022年1,205件）。スペイン語470件（2022年530件）、ポルトガル語731件（2022年675件）。
- (2) 開局（1993年9月1日）以来の受信件数は33,476件である。

研 修

日本語電話相談

1. 養成研修

- (1) 全国的に応募者の減少がみられる中、積極的な広報活動を実施した。2023年度は16名（2022年度22名）の応募があった。
- (2) 3月、「応募動機」「自分史」の応募書類の審査とグループ面接の結果、12名を選考した。
- (3) 前期研修（4月～9月）としては人間関係基礎研修（宿泊研修を含む）、ロールプレイ研修などを実施した。
- (4) 後期研修（10月～翌年2月）は、専門分野の講師による「いのちの電話の成り立ち」や「精神保健」、「相談対応」などについての講義を10回実施した。また実習で電話インターン研修を実施した。
- (5) 前期研修、後期研修を通して、相談員としての適性を審査した結果、5名（2022年度6名）を認定し、3月23日（土）認定証を授与した。なお、応募から研修期間中に体調不良や家庭、仕事の事情により研修が継続困難となり、7名の方が辞退した。

2. 継続研修

相談員は、認定された後も引き続き各種研修が義務付けられている。相談員として良き聴き手となるためには研修は必修である。

(1) 初任者研修

認定された直後の相談員は1年間、月1回の研修が義務付けられており、1グループで実施した。

(2) 地区別グループ研修

相談員は13の地区別グループのいずれかに所属することとしており、毎月1回、研修を実施した。グループは良き聴き手となるための学びを深めると共に、相談員の支えあいの場となっている。

(3) 全体研修

相談員が幅広い知識を習得することで、より良い相談活動が出来るように、毎年、講義内容を精査し研修を企画している。2023年度も「ウイリング横浜」（上大岡）において、下記の通り2回実施した。

第1回 「相談員のケアとレジリエンス」

講師 加藤博仁氏（札幌大学 非常勤講師・臨床心理士）

6/24（土）14：00～16：00（85名参加）

第2回 「共感・受容しにくい電話への対応」～みんなで一緒に考えてみよう～

講師 松橋秀之氏（横浜いのちの電話理事長）

11/25（土）14：00～16：00（62名参加）

(4) 継続スーパービジョン

電話相談を熟知した7名のスーパーバイザーによるスーパービジョン（2時間）を、128名（2022年度128名）に對して実施した。

(5) 相談員スキルアップ研修

10/28（土）～29（日） 国民生活センターにて相談員スキルアップ研修を1泊2日で実施した。

参加者13名（リーダー3名含む）

3. 研修担当者

(1) 研修委員会

相談員養成研修、相談員継続研修など研修全般にかかわる内容について、企画、提案、課題対応を行うために5回開催した。

(2) 研修担当者研修

研修担当者としてのスキルアップを図るため、事例研修を中心に6回実施した。

(3) 研修担当者養成研修

2023年度は3名の参加があり、相談員スキルアップ研修に参加した。

研修担当者研修の事例研修に6回参加した。

相談員養成研修のオブザーバー体験とそのふりかえり研修を実施した。

(4) 講師派遣

外部機関へ研修講師として研修リーダーを派遣した。

5/16 横浜市社会福祉協議会障害者支援センター 「障害福祉入門（新入職員）研修会」

11/6 箱根町役場 「ゲートキーパーとしてのスキルアップ研修」

外国語電話相談

1. 養成研修

(1) 相談員養成研修はスペイン語・ポルトガル語ともに5月から12月まで24回の講義（理論・ロールプレイ）、1月から3月まで電話インター研修を実施した。

(2) 研修参加人数は6名（ポルトガル語4名+スペイン語2名）、そのうちスペイン語1名+ポルトガル語3名が認定された。国籍はブラジル3名、メキシコ1名である。

2. 継続研修

相談員継続研修では、相談員が組織の一員として活動していることへの理解を深めることを目的に、心理学のテーマに基づき、対応の難しい相談の事例検証や、対応のテクニックや心構えを振返るスーパービジョンを行なながら、相談対応の改善を図った。継続研修は計5回及び相談員内勉強会を2回実施した。その他研修担当による個人またはグループでのスーパービジョンを年1回（8-9月）、計17名に実施した。

活動報告

対外活動

- (1) 日本いのちの電話連盟社員総会が6月24日（土）にハイブリット方式で実施され、理事長が対面で出席した。事務局長会議が7月8日（土）にハイブリッド方式で実施された。またオンラインで、2月28日（土）に開催した関東甲信越ブロック会議に理事長が出席した。
- (2) 「第38回いのちの電話相談員全国研修会ふくしま大会」が福島県郡山市で10月26日～28日に開催され、当センターからは、理事長をはじめ7名が参加した。
- (3) 日本いのちの電話連盟主催の「いのち電話事務局長・会計・総務スタッフ研修」が11月30日～12月1日で実施され、事務局長と事務スタッフ1名が参加した。
- (4) 官民共催の「AIDS文化フォーラムin横浜」の委員として、理事長が第1回組織委員会（4月14日）、開会式（8月4日）に出席した。
- (5) 「かながわ自殺対策会議」（7月25日、10月24日）に理事長が委員として出席した。
- (6) 「横浜市自殺対策計画策定検討会」の委員に事務局長が就任し、4回（5月1日、7月7日、8月10日、12月22日）の

オンラインでの検討会に出席した。

- (7) 「よこはま自殺対策ネットワーク協議会」（1月17日）に事務局長が委員としてオンラインで出席した。
- (8) 秦野市自殺対策推進委員会（8月3日、10月19日、11月16日）に事務局長が委員として出席した。
- (9) 相模原市自殺対策協議会（7月10日、8月24日、3月21日）に研修委員長が委員として出席した。
- (10) 湯河原町自殺対策推進協議会（5月25日、11月8日）に事務局長が委員として出席した。
- (11) 2022年度より、ライオンズクラブ国際協会330-B地区の102ヶ所のライオンズクラブへ当センターの紹介や催し物の案内、維持会員・賛助会員のお願いをしているが、2023年度もライオンズクラブ内のイベント開催時の募金活動などで、「いのちの電話」の活動支援をいただいた。
- (12) 川崎いのちの電話事務局と情報交換を行った。
- (13) コロナ禍以前は毎年9月10日に実施していた、JR横浜駅や淵野辺駅構内での「自殺予防いのちの電話」のPRチラシの配布や自殺防止啓発のチラシの配布は実施されなかった。

LAL関連の対外活動

- (1) 1月26日、神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）多文化共生チーム主催により、「神奈川県外国籍県民支援・相談機関連絡会」にLALコーディネーターが参加した。
- (2) 「日本在住のブラジル女性向けのセミナー」が5月3～4日愛知県知立市で開催され、日本で生活する女性に関する一般的なテーマ（家族、人間関係、DV、カルチャーショック、キャリアなど）について議論された。LALコーディネーターと事務局スタッフが参加した。
- (3) 6月19日、駐日ブラジル大使館で在日ブラジル人女性及び社会全体の家庭内暴力に関する認識を高める「プロジェクトLAM」のオープニングセレモニーが行われた。LALのコーディネーターが出席した。
- (4) NPO MAIKEN及びSuzukame Amigos主催で6月25日、三重県四日市市「ブラジル文化フェスティバル」が開催された。LALコーディネーターと事務局スタッフが広報活動を行った。
- (5) 在浜松ブラジル総領事館を6月26日に訪問した。LALの活動をアルデモ・ガルシア総領事に紹介した。
- (6) 群馬県邑楽郡大泉町で定期的に行われる、NPO MAIKEN及び東邦大学医学部精神神経医学部主催の心理相談会にLALコーディネーターが面談の通訳などで参加した。
- (7) 8月29日、駐日ブラジル大使館を訪問し、ブラジルコミュニティ部の書記官に挨拶に伺った。
- (8) 11月22日、墨田区議会の井上ノエミ議員（ボリビア出身）に挨拶に伺い、LALの紹介及びスペイン語を話す外国人コミュニティへLALの活動の紹介をお願いした。
- (9) 12月12日、在ブラジル総領事館を訪問し、在東京ブラジル新総領事に挨拶に伺った。

相談員委員会

1. 相談員委員会定例会

相談員委員会は、相談員の継続研修を行う各地区別グループから選出された相談員委員会委員、事務局長、研修委員会の委員で構成され、原則として毎月第1土曜日 13：30～15：30 開催し次の活動を行った。（8月は休会）

- (1) 相談活動における連絡・報告を通じて、相談員間の情報の共有を行った。
- (2) 相談員として必要な基本的な心構え及び組織の一員として活動することを適宜、再確認し合った。
- (3) 電話相談活動におけるいろいろな課題について話し合い、相談環境の向上を図った。
- (4) 深夜帯の増について検討し、金曜日・土曜日に加え、11月から木曜日の深夜帯を再開した。

2. 研修・行事の担当

相談員は組織の構成員でもあるため、全体研修や新年会などの行事の準備・進行をそれぞれ地区別グループが担当することになっているが、2023年度は6月と11月に開催された全体研修を担当した。

3. 相談員のつどいの開催

2月23日に相談員のつどいを実施。44名が参加し、グループワーク形式により相談員活動に対する思いを語り合った。アンケートでは8割が来年も参加したいとの結果であった。

事業支援委員会

横浜いのちの電話の活動をより社会に広め、運営資金を得ることで事業を支援するために、次のような活動を実施し、法人会計へ50万円を繰り入れた。また、このような支援活動を通して、横浜いのちの電話の支援と協力をお願いする広報活動を行った。会員数約60名。

1. バザー部会

- (1) コロナ感染症が5類に変更になり、仕事会は月2回活動し、バザー商品を製作した。
- (2) 出張バザーが少しずつ出店できるようになり、5ヶ所で出店出来た。また春の映画会でもバザーを実施し、初めてお越しいただいた方も多く、喜んでいただけ盛況だった。

2. 催し物部会

- (1) 秋の催し 「西川悟平トーク＆ピアノコンサート」
2023年10月25日（水） 16：00～17：50 於：関内ホール
チケット売上468枚 当日入場者名448名（含招待者）
- (2) 春の映画会「大河への道」
2024年3月7日（木） 第1回目11：00～13：00 第2回目14：30～16：30 第3回目 18：30～20：30
於：さくらプラザホール チケット売上745枚 当日入場者652名（含招待者）

3. 財政支援部会

10月のコンサート、3月の映画会で募金活動を実施した。

広報委員会

広報「横浜いのちの電話」105号（5月）・106号（11月）を発行した。

事業報告書の発行（7月）

「2022年度事業報告」を発行した。

LAL30周年記念誌発行

LAL30周年記念事業として、3ヶ国語（ポルトガル語、スペイン語、日本語）の記念誌を発行した。

ボランティア間の交流

横浜いのちの電話では、日本語相談・外国語相談・事業支援ボランティア・特別技能ボランティアが活動しており、単独または合同での場を設け、相互の交流を深めている。

2023年度は「日本語電話相談員の集い」のみ実施した。

・日本語電話相談員の集い 2月23日（金/祝日）13:30～16:00 44名参加

* 外国語電話相談員交流会/外国語電話相談員クリスマス会/新年会 中止

募金活動

横浜いのちの電話の活動のために多くの維持会員・賛助会員から寄付をいただいた。

寄付金収入合計 13,586,922円（2022年度8,074,727円）

維持会費381件(個人350件 団体 8件 法人23件) 2,277,000円（2022年度 2,291,000円）

一般寄付463件(個人372件 団体 43件 法人48件) 11,309,922円（2022年度 5,783,727円）

神奈川県地域自殺対策強化交付金事業

神奈川県より200万円の神奈川県地域自殺対策強化交付金事業補助金の交付を受け、主に相談員の研修にあて、相談対応の質の向上及び改善につなげる等、自殺防止対策のために使用した。

相談員数と受信件数

相談員数		受信状況の推移		
日本語相談	180名	年	日本語(件)	外国語(件)
専門相談	心理相談 12名	2010 4-3月	22,067	1,429
	法 律 4名	2011 1-12月	22,051	945
外国語相談	40名	2012 1-12月	21,526	950
		2013 1-12月	21,728	792
		2014 1-12月	21,509	1,126
		2015 1~12月	21,256	1,179
日本語相談	実相談数 16,222件	2016 1~12月	21,306	1,306
	(うち自殺志向) 1,712件	2017 1~12月	21,372	1,957
	(うち自殺予防フリーダイヤル) 538件	2018 1~12月	21,369	1,652
専門相談	心理相談 99件	2019 1~12月	21,600	1,135
	法 律 38件	2020 1~12月	10,730	912
外国語相談	スペイン語 470件	2021 1~12月	13,636	1,212
	ポルトガル語 731件	2022 1~12月	15,388	1,205
		2023 1~12月	16,222	1,201

電話受信状況　相談データ

【電話相談の状況】

1. 日本語電話相談　年代別・男女別受信件数（図1, 表1）

2023年の受信件数は、16,222件と前年の15,388件より微増となった。コロナ禍で休止していた深夜活動日が増えた結果が現れている。コロナ禍により減少した相談員数は高齢化もあり実働数はコロナ禍前に戻っていない。受信件数の男女別では、男性（44.5%）女性（54.8%）と男性の割合が前年（42.8%）より微増している。年代別では、前年と同じく、男性は40代、50代、60代の順に多く、女性は60代、50代、40代となっている。特に40代男性の受信件数が前年同様に増加していることが際立つ。匿名性を尊重しているため、年齢不明が4割超となっている。年代がわかる受信件数9,112件のうち、40代（26.3%）、50代（23.0%）、60代（26.6%）の占める割合が前年同様多い。

2. 日本語電話相談　内容別受信件数（図2, 表2）

内容別では、「人生」が最多（23.5%）で、「精神」（21.5%）「家族（親族を含む）」（13.2%）「対人」（10.0%）「身体」（8.5%）の順となっている。それぞれの内容では、「人生」は生き方、生きがいや孤独が、「精神」では病気に関するものが多い。「家族（親族を含む）」では不満、介護、子育てに加えて虐待も増えている。「対人」では、不和・トラブルが多くなっている。年代別に見ると、30代から50代にかけては「精神」が最も多いのに対し、10代以下は「家族」、20代は「男女」が多く、60代以上は「人生」が最も多く、若年層と高齢層での違いが見受けられる。

3. 日本語電話相談　年代別受信件数と自殺志向率（図3, 表3）

受信件数に対する自殺志向件数は1,712件で、自殺志向率は10.6%で前年の9.8%より上がった。年代別では、40代、50代、60代の順で自殺志向件数の割合が高くなっている。一方、自殺志向率では、前年に続き40代（20.1%）が突出しているが、今年は10代（14.8%）が高くなっている。男女別では、男性（13.0%）のほうが自殺志向率は女性（8.7%）より高くなっている。年代別にみると男性は40代（24.3%）が非常に高く、次に10代（19.4%）50代（16.4%）が高いのに対し、女性は30代（16.3%）が最も高く、次いで20代（15.9%）40代（12.7%）となっており、男女差が見受けられる。

4. 日本語電話相談　内容別受信件数自殺志向率（図4, 表4）

内容別の自殺志向件数は、「精神」「人生」「家族」の順で高くなっている。また自殺志向率は、「精神」（18.0%）「人生」（14.4%）「夫婦」（11.2%）「経済」（10.2%）の順となっており、受信件数としては少ない「夫婦」「経済」の自殺志向率が高くなっている。自殺志向のほとんどは『自殺念慮』であるが、より危険度の高い『予告・通知』の34件中「人生」が18件、「精神」が8件となっていて、これら項目は、危険度が高いものが多く含まれているといえる。

5. 日本語電話相談　フリーダイヤル（図5, 表5）

毎月10日と毎日16時～19時のフリーダイヤルで全国のセンターとオンラインでつなぎ、日本全国からの電話を受けている。男性からの相談件数がやや多くなっている。また、自殺志向率は21.7%で通常電話と比べ高くなっている。女性の通常電話自殺志向率は8.3%だが、フリーダイヤル自殺志向率は22.5%となっている。内容別では受信件数は通常電話と同様「精神」「人生」が多い。自殺志向率では通常電話は「精神」「人生」「夫婦」、フリーダイヤルは「経済」「精神」「夫婦」が高く、傾向の違いが見受けられる。

6. 心理専門電話相談（図6, 表6）

2023年の相談件数は前年より少ない99件。女性からの相談が66件で男性のちょうど2倍となっている。前年は25回以上相談をされた方がいたが、2023年の最多相談回数は15回で、依存状態が少し緩やかになっているように見受けられる。内容別では精神疾患を抱えた方が100%となっているが、現状医療につながっていない方も多いように思われる。対人や家族との関係に苦しむ方が多いのは前年同様である。

7. 法律専門電話相談（図7, 表7）

相談件数は一般相談からの紹介件数の多さに比例して、前年の2倍の38件で上半期に集中している。女性からの相談が4分の3を占めている。内容別で最も多い相談は「相続・贈与」で8件、「離婚」が6件、「家族・扶養」が5件で家族や親族との関りの問題が非常に多かった。

8. 外国語電話相談（図8, 表8）

受信件数は前年とほぼ同じだった。相談内容別では、「人生」の相談には「孤独」「差別を受けた」など、「精神・保健」の相談では「精神疾患」「うつの疑い」の内容が増加した。ラテン系コミュニティでも高齢化が進んでいく。多くの人々は、母国に残した家族との接触をすでに持ておらず、または彼らによって見捨てられたケースもある。病気で働くこともできず、保険にも加入しておらず病院の受診を受けられずにいる。問題はますます深刻になっていると電話相談から知らされる。

日本語電話相談 年代別・男女別受信件数

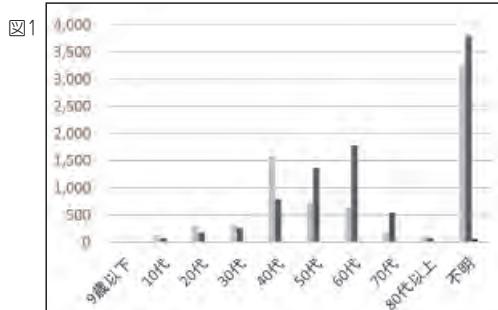


表1

年代別	男性		女性		その他		合計	
	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年
9歳以下	2	0	1	0	0	0	3	0
10代	129	143	77	62	4	4	210	205
20代	299	244	178	158	5	5	480	403
30代	325	294	270	203	9	9	604	597
40代	1,570	1,123	794	643	36	36	2,400	1,986
50代	730	751	1,361	1,311	4	4	2,085	2,082
60代	635	571	1,783	1,677	3	3	2,421	2,248
70代	172	302	541	502	0	0	713	804
80代以上	105	0	81	0	0	0	186	0
不明	3,246	3,161	3,606	3,645	58	58	7,110	7,103
合計	7,213	6,589	8,890	8,798	119	119	16,222	15,388

* 性別の「その他」、年代別の「80代以上」は2023年より集計

「その他」には性別不明または男性・女性のいずれにも該当しない性別が含まれる

日本語電話相談 内容別受信件数

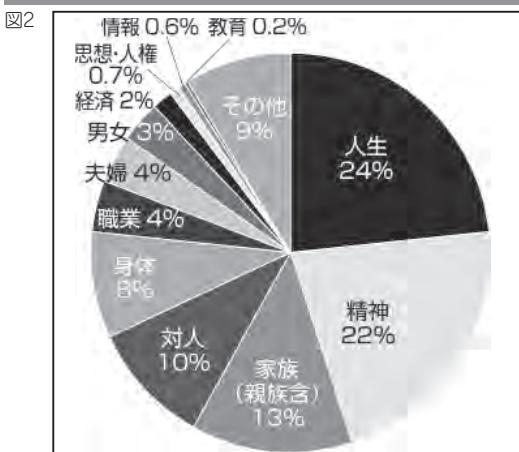


表2

	2023年	2022年	割合
人生	3,818	3,242	23.5%
精神	3,490	3,844	21.5%
家族(親族含む)	2,147	1,994	13.2%
対人	1,826	1,176	10.0%
身体	1,373	1,614	8.5%
職業	671	654	4.1%
夫婦	636	598	3.9%
男女	563	444	3.5%
経済	255	222	1.6%
思想・人権	120	87	0.7%
情報	94	115	0.6%
教育	32	48	0.2%
その他	1,397	1,350	8.8%
合計	16,222	15,388	100.0%

日本語電話相談 年代別受信件数と自殺志向率

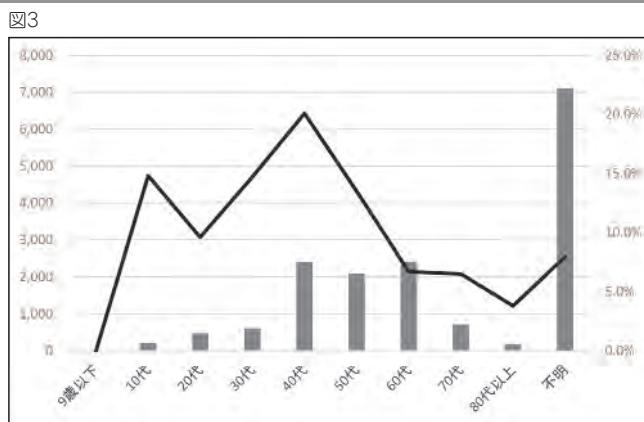


表3

年代別	受信件数	自殺志向件数	自殺志向率
9歳以下	3	0	0.0%
10代	210	31	14.8%
20代	480	46	9.6%
30代	604	89	14.7%
40代	2,400	482	20.1%
50代	2,095	282	13.5%
60代	2,421	162	6.7%
70代	713	46	6.5%
80代以上	186	7	3.8%
不明	7,110	567	8.0%
計	16,222	1,712	10.6%

日本語電話相談 内容別受信件数と自殺志向率

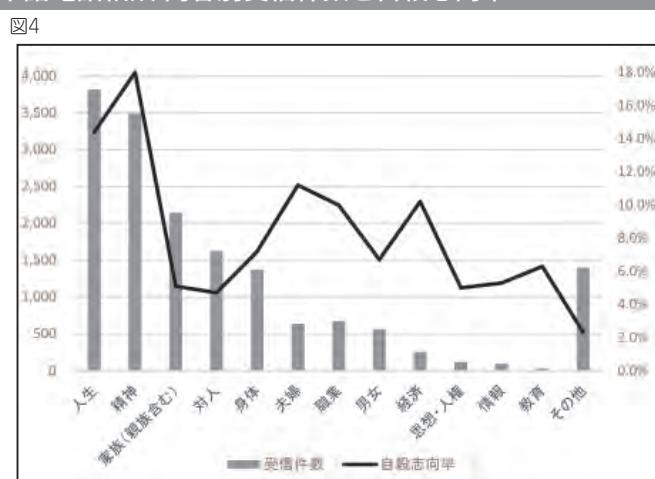
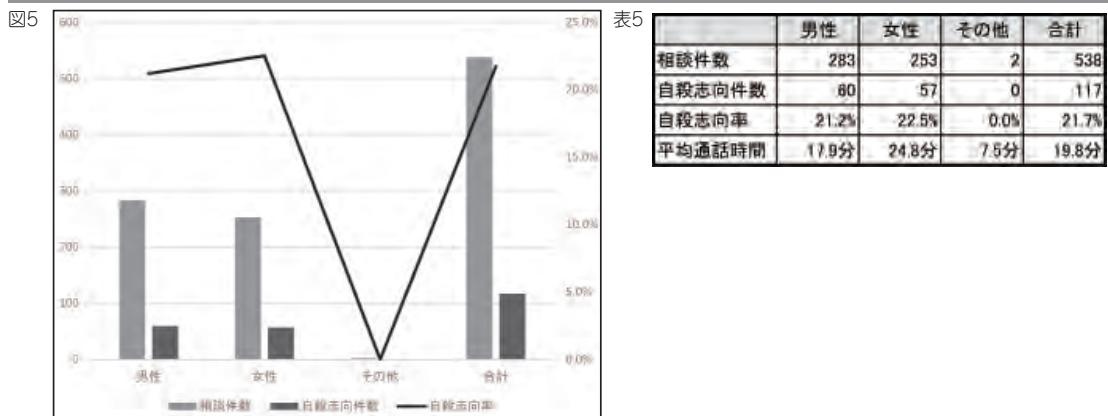


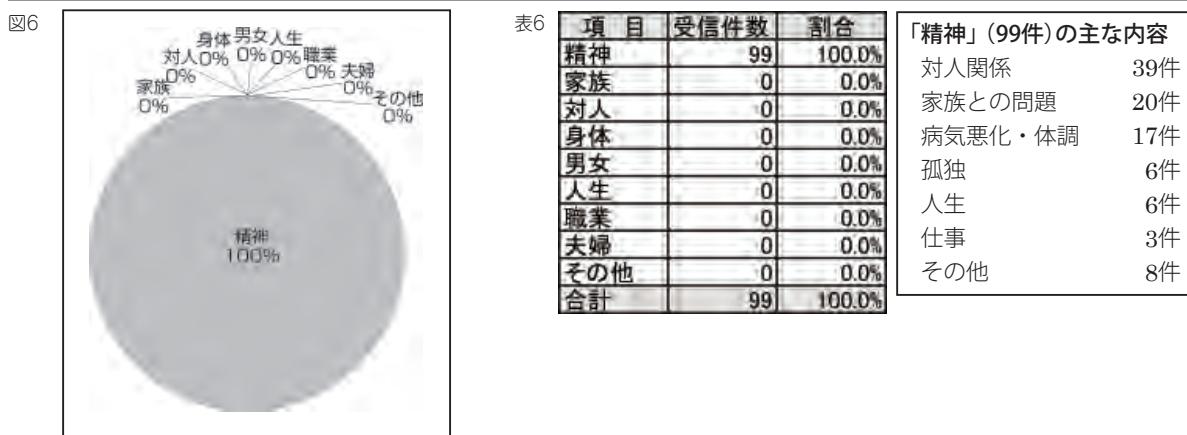
表4

内容別	受信件数	自殺志向件数	自殺志向率
人生	3,818	551	14.4%
精神	3,490	628	18.0%
家族(親族含む)	2,147	110	5.1%
対人	1,826	77	4.7%
身体	1,373	99	7.2%
職業	671	67	10.2%
夫婦	636	71	11.2%
男女	563	38	6.7%
経済	255	26	10.2%
思想・人権	120	6	5.0%
情報	94	5	5.3%
教育	32	2	6.3%
その他	1,397	32	2.3%
合計	16,222	1,712	10.6%

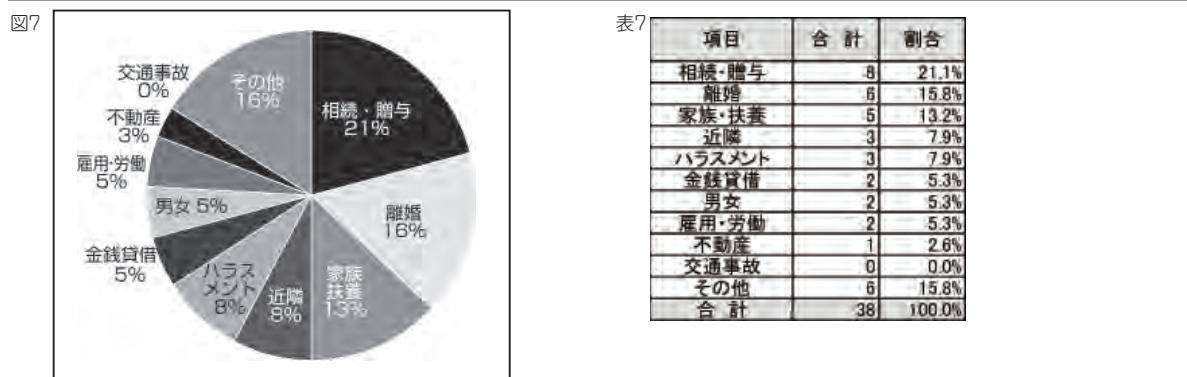
日本語電話相談フリーダイヤル



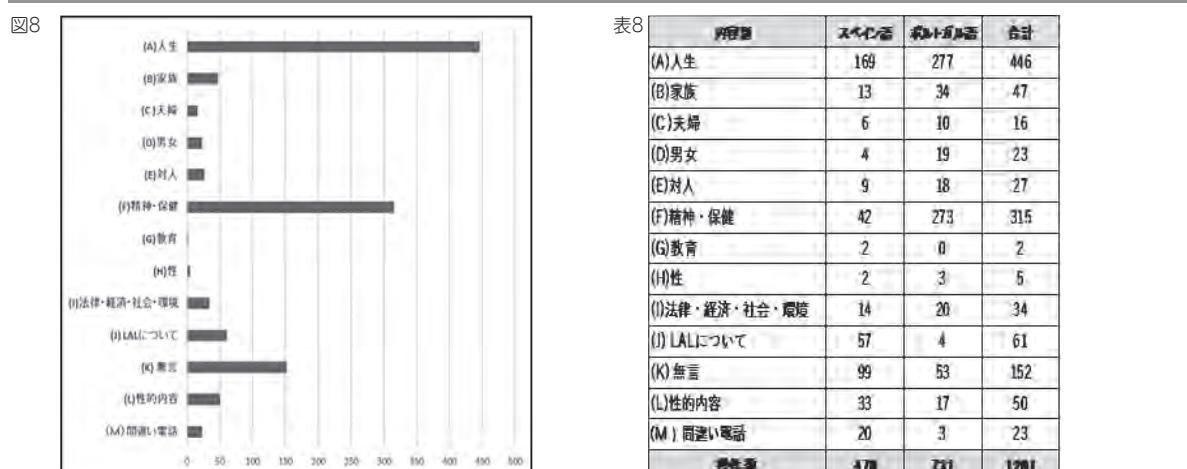
心理専門電話相談・内容別受信件数



法律専門電話相談・内容別受信件数



外国語電話相談・内容別受信件数



2023年度 決算報告

資金収支計算書

(自)2023年4月1日 (至)2024年3月31日

(単位:円)

		予 算	決 算	差 異
事業活動による収支	事業支援委員会収入	3,500,000	3,759,139	△ 259,139
	寄付金収入	13,600,000	13,586,922	13,078
	経常経費補助金収入	8,000,000	8,000,000	0
	研修事業収入	879,000	879,000	0
	共同募金配分金収入	520,000	240,000	280,000
	連盟助成金			0
	雑収入	0	8,000	△ 8,000
	受取利息配当金収入	5,000	2,639	2,361
	事業活動収入計(1)	26,504,000	26,475,700	28,300
	事業活動支出計(2)	20,842,960	20,433,841	409,119
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	5,661,040	6,041,859	△ 380,819
施設整備等収支等に	施設整備等補助金収入	0	280,000	△ 280,000
	施設整備等収入計(4)	0	280,000	△ 280,000
	固定資産取得支出	375,540	375,540	0
	施設整備等支出計(5)	375,540	375,540	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 375,540	△ 95,540	△ 280,000
その他の活動による収支活動	その他の活動収入計(7)			0
	積立資産支出	5,000,000	5,000,000	0
	その他の活動支出計(8)	0	0	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 5,000,000	△ 5,000,000	0
	予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		285,500	946,319	△ 660,819
前期末支払資金残高(12)		17,850,701	17,850,701	0
当期末支払資金残高(11)+(12)		18,136,201	18,797,020	△ 660,819

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	20,305,562	流動負債	1,508,542
現金預金	18,115,962	未払金	56,760
未収補助金	2,000,000	預り金	36,282
前払金	189,600	前受金	1,415,500
固定資産	138,886,261	負債の部合計	1,508,542
基本財産	100,000,000	純資産の部	
定期預金	100,000,000	基本金	100,000,000
その他の固定資産	38,886,261	第1号基本金	100,000,000
器具及び備品	960,103	国庫補助金等特別積立金	1,701,752
電話債券	890,644	その他の積立金	36,214,180
ソフトウェア	821,334	相談事業積立金	32,582,780
相談事業積立資産	32,582,780	国際交流積立金	3,000,000
国際交流積立資産	3,000,000	ブラジルファンド積立金	631,400
ブラジルファンド積立資産	631,400	次期繰越活動増減差額	19,767,349
		(うち当期活動増減差額)	6,025,935
		純資産の部合計	157,683,281
資産の部合計	159,191,823	負債及び純資産の部合計	159,191,823

監査報告書

社会福祉法人横浜いのちの電話における2023年度の計算関係書類及び財産目録について監査を実施したところ、事業の運営及び会計上、健全で、かつ公正に処理されているものと認めましたので報告します。

2024年5月10日

監事 野沢 豊印
監事 目黒 裕印

2024年度 事業計画

社会福祉法人横浜いのちの電話は、2024年度も「いつでも、だれでも、どこからでも」の原点に立ち、ボランティアによる自殺予防を中心とした眠らぬ電話相談活動を継続していきます。いのちを大切にする市民（ボランティア）運動として、その輪を広げていきます。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更になり1年が経ちますが、引き続きコロナ禍への対応をしながら、横浜いのちの電話基本理念にもとづき、次のとおり、実施します。

I. 電話相談事業 《電話の即時性をもって匿名を確保し、寄り添う》

1. 2020年度からはコロナ禍によりそれまでの24時間活動を8時～22時までの活動にならざるをえなかつたが、順次深夜帯を再開し、現在は、木曜日・金曜日・土曜日の3日間は深夜帯の相談活動を実施している。基本は24時間、年中無休の日本語相談活動を継続し、引き続き他の曜日の再開を検討し順次実施する。
2. 日本語電話相談のうち、専門的援助を必要とするかけ手を対象に、専門相談（心理・法律）を継続する。
3. スペイン語、ポルトガル語を母国語とするかけ手を対象に外国語電話相談活動（スペイン語・ポルトガル語）を継続する。

II. 電話相談員の養成とスキル向上 《ひとりの人間としての成長を図る》

1. 電話相談員を育成するために電話相談員養成研修（1年間）を実施し、適性者を認定する。
2. 電話相談員のスキルの向上の研修を実施する。
 - (1) 日本語相談
 - ①専門家による個人スーパービジョン（全員年1回必修）
 - ②地区別グループ研修
 - ③全体研修
 - ④スキルアップ研修
 - (2) 外国語相談
 - ①専門家による講座（年5回程度）
 - ②個人スーパービジョン（全員年1回以上必修）
3. 研修担当者養成研修を実施し、研修担当者を育成する。
4. 相談員が活動しやすくなるよう相談環境等の改善に努める。

III. ボランティアの募集 《自発的に参加するボランティアによって支えられている》

1. 日本語電話相談員、外国語電話相談員及び事業支援ボランティアを積極的に募集する。
2. 日本語電話相談については24時間体制を維持するために、また外国語相談の継続のために、マスメディア、各自治体及び他機関の協力を得る。

IV. 個人・法人の自覚と責任を持ち、運動体として活動する

1. 広報活動
 - (1) 広報誌「横浜いのちの電話」を発行する（5月・11月）。
 - (2) 「事業報告書」を作成し、発行する（7月）。
 - (3) ホームページを常に更新し、充実させる。
 - (4) パンフレット、カード等の配布資料を作成し、有効に活用する。
 - (5) 外国語電話相談を必要とする人たちへの広報活動及び支援者の輪を広げる。
 - ①各種雑誌への掲載や、ホームページを用いて広報活動を積極的に行う。
 - ②国際交流協会、各国大使館・領事館及び外国人援助団体などとの連携を深める。
 - (6) 公開講座（ミニ講座も含む）を開催し、地域への広報啓発活動を行うとともにボランティア募集活動の推進を図る。
2. 事業支援者の確保と拡大
 - (1) 事業支援委員会のもとに設置した財政支援部会を基軸に積極的に募金活動及び企業団体への働きかけを推進する。
 - (2) 維持会員・賛助会員の継続及び新規会員の加入に努める。
 - (3) 法人・団体の維持会員の新規加入に努める。
 - (4) 寄附金の拡大を図るため、寄附者に対する税額控除制度（国・県・市）対象法人としてのメリットを継続的にPRし、認可団体としての継続・維持に努める。
 - (5) ライオンズクラブ、ロータリークラブ、及び諸団体との連携を深め、協力を依頼する。
3. 事業支援委員会活動として、催し物部会ではコンサート及び映画会を実施する。またバザー部会では手作り作品の販売に努める。
4. 社会福祉法人制度改革に伴う法人としての体制確立と適正運営の維持・強化する。

V. 県・市等行政及び他機関との連携 《社会との協働》

1. 日本いのちの電話連盟及び加盟電話センターと連携、協力する。
 - (1) 2024年度厚生労働省補助事業による自殺予防活動の一環として、毎月10日に実施される連盟主催の自殺予防フリーダイヤルへ継続参加する。

2020年度コロナ禍対応として開始されている毎日フリーダイヤルに1日と20日の月2日参加しているが、引き継続される場合は、1日と20日以外の日も状況に応じて参加していくようにする。また、ナビダイヤル導入の再検討を行う。
 - (2) 研修、広報活動など、加盟電話センターと連携、協力をする。
2. 毎年9月10日の「世界自殺予防デー」に合わせ、神奈川県と横浜市の自殺対策街頭キャンペーン及びJR東日本と「自殺予防いのちの電話」フリーダイヤルの駅頭告知活動をそれぞれ横浜駅等にてカード配布のPR活動を実施する。
3. 神奈川県下の川崎いのちの電話と連携を深める。
4. かながわ自殺対策会議、よこはま自殺対策ネットワーク協議会、相模原市自殺対策協議会、秦野市自殺対策推進委員会、湯河原町自殺対策推進協議会のメンバーとして、神奈川県・横浜市・相模原市・他の市町村及び関連機関との連携を深め、自殺防止活動に参画し、寄与する。
5. AIDS文化フォーラムin横浜に組織委員として参加する。
6. 外国語電話相談について、
 - (1) ホームページを有効に活用し、より一層の周知を図る。
 - (2) 南米出身者のコミュニティーや職業紹介機関を通じてPRの促進を図る。

以上

資金収支予算書

自：2024年4月1日 至：2025年3月31日

(単位：円)

		勘定科目	予算	
事業活動による収支	収入	事業支援委員会収入	3,545,000	
		寄付金収入	6,760,000	
		経常経費補助金収入	8,000,000	
		連盟助成金	1,175,500	
		研修事業費収入	840,000	
		共同募金配分金収入	1,530,000	
		雑収入	0	
		受取利息配当金収入	5,000	
	事業活動収入計(1)		21,855,500	
	支出	人件費支出	10,195,000	
		事業費支出	8,901,100	
		事務費支出	4,002,500	
		事業活動支出計(2)	23,098,600	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 1,243,100	
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	0	
		固定資産取得支出	1,862,025	
	支出	施設整備等支出計(5)	1,862,025	
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,862,025	
その他の活動による収支	収入	その他の積立金取崩収入	3,200,000	
		その他の活動による収入計(7)	3,200,000	
	支出	その他の活動支出計(8)		
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,200,000	
		予備費支出(10)	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			94,875	
前期末支払資金残高(12)			18,136,201	
当期末支払資金残高(11)+(12)			18,231,076	

法人組織

法人役員（2024年7月1日現在）

理事長	松橋 秀之	社会福祉法人のぞみの家理事長
理事	笠井 政記	横浜いのちの電話 事業支援委員会委員長
	佐竹 博	公益財団法人横浜Y M C A 総主事
	佐渡美佐子	横浜いのちの電話相談員委員会委員長
	十川いづみ	横浜いのちの電話 研修委員会委員長
	千木良 正	小長井・千木良・渡邊法律事務所 弁護士
	坪内 大輔	横浜いのちの電話 広報委員会委員長
	西崎 猛之	社会福祉法人鎌倉静養館理事長
	藤井 豊美	横浜いのちの電話外国語相談総会議長・コーディネーター
監事	野沢 豊	元日本埠頭倉庫株式会社 常勤監査役
	目黒 裕	社会福祉法人大和しらかし会大和市障害福祉センター松風園 統括園長
評議員	石黒 敬史	社会福祉法人興寿会 理事長
	杉山 徹	神奈川県中央児童相談所 所長
	高橋 慎一	カトリック末吉町教会主任司祭
	竹内 直樹	医療法人横浜いずみ会開花館クリニック 副院長
	田中 博章	社会福祉法人十愛療育会 理事長
	永井 撤	東京都立大学 特任教授
	中村 好美	保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会 会長
	新堀由美子	男女共同参画センター横浜北 館長
	平野 孝夫	株式会社オリマツ 代表取締役会長
	政岡 弘道	宗教法人真光寺 代表役員（住職）

法人会議

理事会	第1回	2023年 5月24日	評議員会	定時	2023年 6月7日
	第2回	2023年 6月26日			
	第3回	2023年 10月24日			
	第4回	2024年 1月24日			
	第5回	2024年 3月27日			

苦情解決制度についてのお知らせ

社会福祉法人横浜いのちの電話が提供するサービスに関する
苦情に適切に対応するため、苦情解決の仕組みを整えています。

苦情の受付 横浜いのちの電話事務局

第三者委員 三宅 玲子（心理専門相談）
植田 薫（弁護士）
岩本 弥生（外国語相談）
永井 撤（評議員）
松原 康雄（学識経験者）

2023年度感謝報告

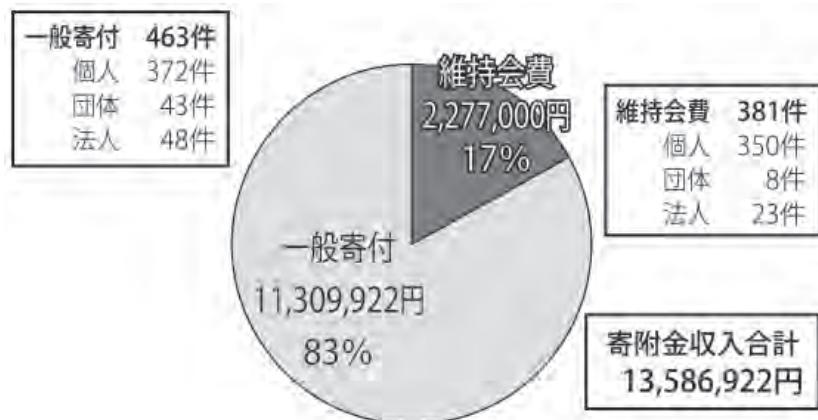
日頃より横浜いのちの電話の活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

横浜いのちの電話は多くの方々や団体、法人の皆様の温かいお気持ちに支えられ今年度も活動を続けることが出来ました。心よりお礼申し上げます。

これからも一人でも多くの相談者の声に耳を傾け、その方々の思いを受け止めて参りたいと願っております。また、相談員の養成や研修を更に重ね、電話をかけて良かったと思っていただけるように励んでまいります。

皆さまから頂いたご寄付は、今後もより良い相談活動を継続させるために大切に使わせていただきます。引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

ご寄付を頂きました方々のご芳名を掲載させていただきます。なお、ご芳名につきましては、万全の注意を払ってはおりますが、万が一にも記載もれや誤字脱字がございましたら、恐れ入りますが事務局までご一報いただければ幸いでしす。また個人情報保護上、掲載を希望されない方のお名前は掲載いたしておりません。今後も掲載を希望されない方はお知らせください。敬称は省略させていただきます。



◎維持会費（個人）

◆ア	相沢 匡	青木 英人	青田 雅子	青野 幸子	青柳 令子	青山のぶ	秋田 良子
阿久津久枝	天野 明子	新井 裕子	荒川 節子	有田モト子	安藤実菜子	◆イ	飯塚由紀子
家里 敦子	伊草 淳子	池田 敦子	池田 淑美	石井 保弘	石川 章	石川 紗子	石川 充子
石津 彩子	石塚 博子	石附 峰子	五十畠誠子	板坂 光明	市村 肇	伊藤 君恵	井藤小夜香
伊藤 純子	伊藤 文子	伊藤まさ子	伊藤真美子	稻垣 賀子	井上 敦子	井上美佐子	猪俣 清子
今井 迪恵	伊豫部安代	岩澤 敏一	岩下由紀子	岩橋 圭子	岩橋 史明	岩淵 肇	岩本 満
◆ウ	内田恵美子	打田真理子	梅田 淳子	潤井真理子	◆工	江口チエ子	江口 洋子
海老原弘子	◆才	大江 美香	大久保和也	大久保俊夫	大久保洋子	大澤 康子	太田 桂子
大竹 朋子	大塚由香里	大槻久美子	大友 順子	大貫まち子	大畠みどり	大原英里子	小笠原佳子
岡田 美佐	岡本理津子	岡本 恵子	岡本 昂	岡本 連三	小川 勝利	小川 恒子	小川由起子
荻沼 敦子	奥田 紀子	小貫 洋子	小畠 克	小原 勉	◆力	柿沢 純江	加行 尚
笠原 光子	桜村かおり	春日 久栄	片平光知子	片山功仁慧	加藤あゆみ	加藤 征三	加藤 浩子
加藤 博子	加藤 文男	加藤眞知子	加藤 葉子	金子 ユミ	金子佐智子	金子 由紀	加野 俊恵
上川 定子	上地 操	上村千代子	加山 潤一	川添 祐子	河内ゆう子	◆キ	紀井 悅子
菊地 綾子	菊地万里子	木曾美沙子	北 孝史	喜多村光江	木原 サエ	木原由紀子	君塚 展子
木村 和子	木村 弘子	木村 雅恵	木本美枝子	◆ク	草本 和子	楠本 泰子	工藤 幸子
久保 勇	久保 玲子	黒部 一允	群部 直子	◆コ	小出太美夫	小菅 啓子	児玉 王子
小林 繁代	小林田鶴子	小林 信子	小林 葉子	小林 理枝	小松 智子	小森 綾子	小森 詳宏
小山 かよ	近藤 繁子	◆サ	斎藤 悅子	斎藤莊之助	斎藤 たえ	斎藤みどり	榎原 隆太
坂齋三枝子	坂野 日和	坂本 良子	崎山ますみ	佐竹 博	佐藤 圭	佐藤有見子	佐藤よし子
佐渡美佐子	佐野 知子	佐藤 千早	澤村 幸子	◆シ	茂田 悅子	重宗美智子	篠崎 千波
島田 裕子	島津 直美	清水 保	志村 和子	下会所一恵	下村 厚子	下村 秀子	庄司 恵子
庄子 徳義	白川 啓子	陳岡 啓子	◆ス	相村 千津	鈴木江美子	鈴木 和子	鈴木 初子
鈴木 リツ	隅藏 渉	◆セ	関根 恵子	瀬田 義雄	瀬戸 高代	芹澤由紀子	
◆ソ	十川いづみ	外田 博子	◆タ	平 恵子	高島千恵子	高田 耕多	高野 晴子
高橋 章	高橋久仁江	高橋 恵子	高橋 純子	高橋 恒子	高橋由美子	高橋 吉巳	高山 勝則
滝沢 潔	竹内 直樹	竹内 弥生	竹谷 なつみ	田代 良一	田中 巖	谷川 雅恵	谷沢 栄司
谷 隆英	田原 景子	田宮 繁子	田村素恵子	田村 紀子	田村 美子	◆チ	長南 康子
◆ツ	津田 道夫	綱島 和子	◆テ	手塚 正子	◆ト	東島 昌子	徳永 敬子
土志田康浩	富田 修一	鳥海 薫	◆ナ	永井 崇朗	永井 撤	中島 博明	長嶋 君江
長瀬 陽子	中 園子	永田千鶴子	仲手川徳幸	永野 肇	中野 竜子	中林 淳子	中村知江子
中村 和彦	那須 泰治	南宮 一子	◆ニ	新見 泰代	新村 寛子	西崎 猛之	西鳶 宣雄

西 美和	西谷 大介	◆ネ	根崎 理香	◆ノ	野沢 純子	野沢 豊	野田 政則
野中多津子	野畠 勢津	野村 重子	◆ハ	橋口奈保子	花立 悅治	花村 節子	馬場 泰子
Pubill Puig Xavier	原崎 郁夫	原 寛子	治田 哲之	◆ヒ	日笠 宏	東 大策	樋口 純子
菱山 米子	飛彈野育子	百武 紀子	平尾 良子	平城 波江	平嶋 丸美	平根 寛	平野 孝夫
蛭田 典子	広越 恵子	廣庭 一孝	◆フ	深澤 祥江	福永 牧子	福永 隆	福本 秀子
福山 笑子	藤井 征子	藤崎 孝子	藤田 妙子	藤田 久子	藤永美恵子	藤野 英明	藤吉 康司
藤井 明子	古川恵美子	古川 淳一	古野 裕子	◆ホ	星野 敦子	◆マ	前田いづみ
増田 雅子	松石 裕子	松浦恵美子	松尾恵津子	松木 英雄	松田 英幸	松橋 秀之	松本 直樹
◆ミ	溝幡三紀子	三橋 三恵	三橋満里子	皆川真理子	南 慶子	峯岸 文子	蓑島 典代
宮嶋 久枝	宮田 和恵	宮本 佳奈	◆ム	向野 和雄	村木 正子	村田 貴子	
◆モ	持川 光代	森口 弥生	森田 茂實	森原 久子	森 優美	◆ヤ	柳下 修
八塚 住子	山口 明子	山口いね子	山口 奈巳	山口 善弘	山崎恵美子	山田千賀子	山田 理子
山田 洋子	山本 きく	山元 桂子	◆ユ	結城由美子	弓削寿美子	◆ヨ	吉岡 喜子
吉住真理子	吉田よし子	吉野 典子	吉味 徳子	◆ワ	若尾 正子	若林 園子	渡辺 詩子
渡辺はるみ	渡辺 静江						

◎維持会費 (法人)

安楽寺	(株)一幸堂	圓光院	京浜急行電鉄(株)	香象院	廣徳寺	光明院
国分寺	西善院	真照寺	莊厳寺	相鉄ローゼン(株)	増徳院	(株)高島屋横浜店
(株)デザインコンビニア		東昌寺	東漸寺	古河電池販売(株)	(株)マルヤホーム	(有)京横興発
(一社)横浜市医師会			(福)横浜YMCA福祉会			(株)横浜銀行本店

◎維持会費 (団体)

神奈川県神社庁	神奈川県精神科病院協会	鎌倉恩寵教会	杉山神社幼稚園	蒔田教會	横浜菊名教会壮年会
横浜金港ライオンズクラブ		YOKOHAMA BELLライオンズクラブ			

◎一般寄付 (個人)

◆ア	相沢 匡	青木 英人	有田モト子	◆イ	飯塚由紀子	伊草 淳子	池田 敦子
石井 保弘	石川 章	石川 充子	石塚 博子	石附 峰子	五十畠誠子	伊藤まさ子	井上美佐子
伊豫部安代	岩澤 敏一	岩橋 圭子	岩橋 史明	◆ウ	植田 茂子	内田恵美子	打田真理子
江口 洋子	江渕 武雄	◆オ	大江 美香	大久保 明	大久保洋子	大澤 康子	大貫まち子
大野 房枝	大輪 靖宏	小川由起子	奥田 紀子	尾中 孝子	小貫 洋子	小畠 克	小原 勉
◆カ	柿沢 純江	加行 尚	笠原 光子	春日 久栄	加藤あゆみ	加藤 浩子	加藤眞知子
加藤 葉子	金子 由紀	上川 定子	上地 操	亀岡 大造	加山 潤一	川崎 智晴	川添 祐子
◆キ	菊地 紗子	菊地万里子	岸 厚子	木曾美沙子	喜多村光江	北村由紀子	木原由紀子
木村 弘子	木村 雅恵	◆ク	工藤 幸子	久保 言史	久米 邦子	黒部 一允	郡部 直子
◆コ	香山 一江	小林 紗代	小林 信子	小林 葉子	小松 智子	小森 紗子	小森 詳宏
小山 正武	◆サ	材木 明子	齋藤莊之助	坂齋三枝子	佐々木伊奈子	佐治恭仁子	佐藤 圭
佐藤有見子	佐藤よし子	佐渡美佐子	佐野 知子	佐藤 千早	◆シ	茂田 悅子	重宗美智子
篠崎 千波	島田 裕子	島津 直美	清水 保	下会所一恵	下山 弘至	庄司 恵子	庄子 徳義
神馬 純江	◆ス	楫村 千津	杉山 孝博	鈴木江美子	鈴木 和子	◆セ	瀬尾 幸男
瀬田 義雄	◆ソ	十川いづみ	◆タ	高石 順子	高島千恵子	高田 耕多	高橋久仁江
高橋 恵子	高橋 恒子	高橋 雄一	高橋 吉巳	高原 将光	高山 勝則	滝沢 潔	竹野内恭子
田代 良一	館 東子	田中 巍	田中 英雄	田中三一子	田中 洋子	谷川 雅恵	谷沢 栄司
谷 隆英	田村 紀子	◆チ	千々輪悦子	茶木原陽子	長南 康子	◆ツ	辻川 篤
つながる募金	坪内 重子	鶴田 京子	◆テ	手塚 正子	◆ト	富田 重次	富田 修一
友田 秀子	鳥海 薫	◆ナ	永井 崇朗	中尾久美子	中川 董子	中島 博明	長瀬 陽子
永田千鶴子	仲手川徳幸	永野 肇	中 典子	中野 竜子	中林 淳子	中村 和彦	那須 泰治
◆ニ	西谷 大介	新堀由美子	丹羽 慧子	◆ノ	野沢 豊	野田 政則	野畠 勢津
◆ハ	橋口奈保子	花村 節子	濱田 静子	原崎 郁夫	原田 勝男	◆ヒ	日笠 宏
東 大策	樋口 純子	菱山 米子	飛彈野育子	平尾 良子	平野 孝夫	平野 孝使	平本 淳一
広越 恵子	廣庭 一孝	◆フ	深澤 聖子	深澤 祥江	福本 秀子	福山 笑子	藤田 久子
藤吉 康司	藤井 明子	古川恵美子	古川 淳一	古谷 英之	◆ホ	募金袋	
◆マ	前田いづみ	牧田きみ子	町田 浩	松浦恵美子	松田 英幸	松橋 秀之	松村 清司
◆ミ	水谷 透	三橋 三恵	三橋満里子	皆川真理子	三宅 玲子	宮嶋 久枝	宮田 和恵
◆メ	日黒 裕	◆モ	森口 弥生	森 優美	◆ヤ	屋嘉部路代	八木佐代子
矢谷安紀子	八塚 住子	山口 明子	山口いね子	山口 奈巳	山口 善弘	山本 きく	
◆ユ	結城由美子	◆ヨ	横田カツ子	横田 真弓	吉田よし子	吉味 徳子	
◆ワ	若尾 正子	和賀 順子	渡辺はるみ				

◎一般寄付（法人）

(株)一幸堂	圓光院	(株)アーバン企画開発	基督兄弟団横浜教会	汲沢電設(有)	香象院	廣徳寺
光明院	西善院	(一社)生命保険協会神奈川県協会		莊嚴寺	搜真学院	増徳院
(有)大神	(株)デザインコンビニア		東漸寺	東横石油(株)	ハニーミルク(株)	
(株)マルヤホーム		(有)京横興発	(有)フットフィール	横浜学院	蓮花院	

◎一般寄付（団体）

厚木幼稚園	栄光学園愛の運動委員会	霞ヶ丘教会	鎌倉雪ノ下教会	清水ヶ丘教会	関東学院六浦中学高校		
関東学院中学高校	鵠沼めぐみルーテル教会	桜ヶ丘幼稚園	新横浜教会	搜真女学校PTA	宗泉寺	茅ヶ崎恵泉教会	
田園江田教会	逗子教会	田浦教会	横浜教会渡辺滋基金	藤沢教会	藤沢北教会	藤沢北教会婦人会	
藤沢カトリック教会		翠ヶ丘教会	紅葉坂教会	湯河原町長	横須賀学院	横浜海岸教会	横浜指路教会
横浜あおばライオンズクラブ		横浜泉ライオンズクラブ		横浜磯子教会	横浜英和学院	横浜共立学園	
横浜たちはなライオンズクラブ		横浜戸塚中央ライオンズクラブ		YOKOHAMA BELL ライオンズクラブ		横浜南ローリークラブ	横浜元町ライオンズクラブ
六角橋教会							

<以上、敬称略>

2023年度事業支援委員会 感謝録

社会福祉法人横浜いのちの電話の一組織として、バザー・コンサートなどの支援会活動を行いました。その収益を横浜いのちの電話の相談活動の運営資金として協力することができました。活動を支えてくださった多くの方々・団体に感謝いたします。

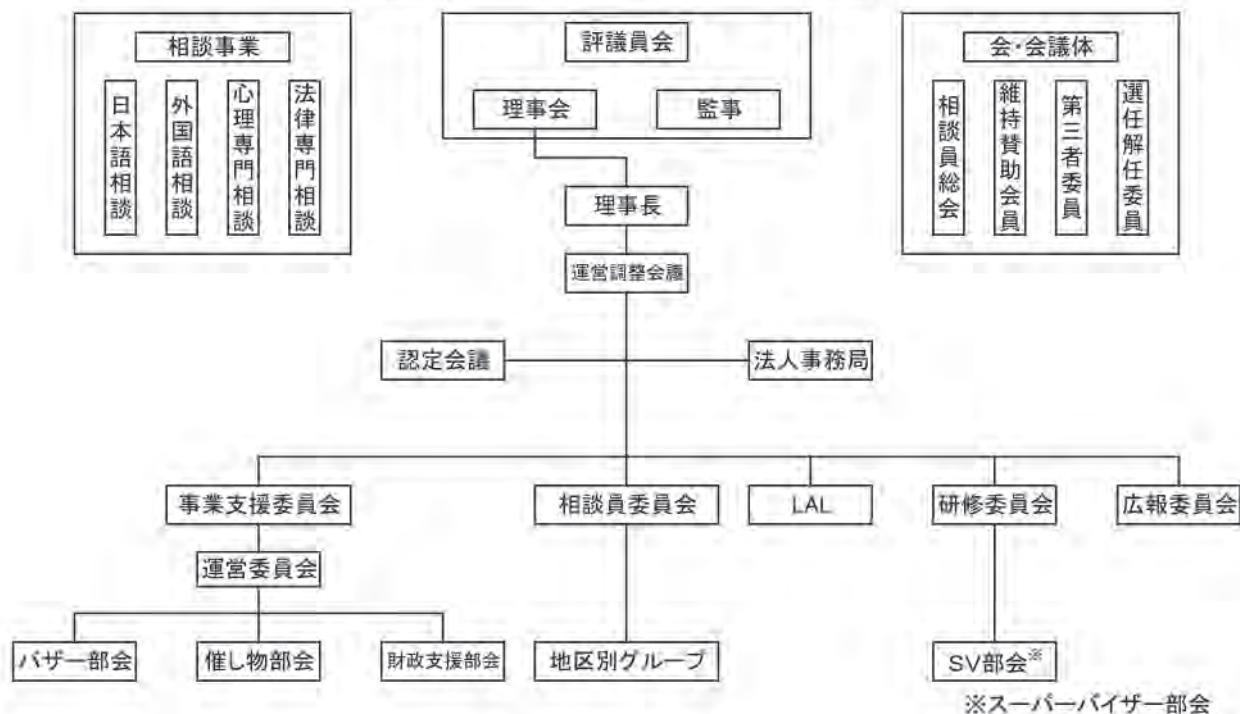
秋のコンサート 広告協賛企業

(株) 有隣堂	(有) ヨネヤマプランテイション	(株) 三彩社
横浜醤油 (株)	(株) ガトーよこはま	(株) つま正
(株) オリマツ	社会福祉法人 鎌倉静養館	カサイ企画
戸越税理士法人	(株) 白楽花園	(株) メリー
(有) 光越商事		

ご協力いただいたバザー会場

1. 4月16日 カトリック雪の下教会
2. 6月 4日 カトリック渋谷教会
3. 10月20日 神戸女学院同窓会・横浜
4. 10月21日・22日 興和台団地まつり
5. 11月 3日 曹洞宗大本山總持寺
6. 11月26日 カトリック二俣川教会
7. 3月 7日 横浜いのちの電話春の映画会

組織図



支援会ボランティア・資金ボランティアで ご協力いただけませんか。

お問合せ先 事務局 **045-333-6163**

支援会ボランティア

横浜いのちの電話の電話相談活動を資金面で支える、支援会ボランティアには、手作り品の製作に励むバザー部会と、映画やコンサートの企画立案をする催し物部会があります。両部会とも、仲間と楽しみながら自分のできることで社会貢献できるのが喜びになっています。

資金ボランティア（寄付のお願い）

眠らぬダイヤルとして24時間体制で電話相談を続けていくためには、運営資金が必要です。維持会員または賛助会員になって資金面でのご協力をお願いします。皆様の温かいご支援をお待ちしています。ご寄付には税制上の優遇処置があります。

○維持会員（毎年一定額を援助して下さる方）

個人 年間1口 3,000円 5,000円 10,000円

法人 年間1口 10,000円（何口でも可）

○賛助会員（隨時、任意の額を援助して下さる方）

○振込先 郵便振替 00240-3-15191

銀行振込 三井住友銀行 横浜駅前支店

普通口座番号 9367360

口座名 社会福祉法人横浜いのちの電話

※銀行振込の場合は、ご住所をお知らせください。領収書をお送りいたします。

遺贈について

ご遺産や相続された遺産を、横浜いのちの電話のために寄付したいとのお申し出が増えています。手続きなどのご相談は事務局までご連絡ください。なお、ご寄付に対しては相続税法上の優遇措置（寄付金控除）が受けられます。

<表紙の絵について作者の言葉>

ヤマブキ（バラ科）

太田道灌の故事で知られているヤマブキの花、ヤマブキの一枝を差し出した娘の真意がつかめず立腹したとか…。

電話相談は受話器から聞こえる情報だけですが、かけての声の高低や話し方のスピード、沈黙の様子等からかけての背景にあるものを感じ取ろうと心がけています。（M. K）

いのちの電話は
いつもあなたのそばにいます
一人で悩まずにご相談ください
24時間・年中無休の眠らぬ電話です
名前をいう必要はありません
相談内容の秘密は必ず守ります



日本語電話相談

045-335-4343

外国語電話相談

0120-66-2477 スペイン語

0120-66-2488 ポルトガル語

横浜いのちの電話 2023年度事業報告

発行日 2024年7月

発行者 松橋秀之

発行所 社会福祉法人横浜いのちの電話

〒240-8691

日本郵便(株)保土ヶ谷郵便局私書箱32号

事務局 Tel 045-333-6163

fax 045-332-5673

<http://www.yind.jp/>



この報告書は神奈川県共同募金からの配分金で作成しました。